平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　名糖産業株式会社　　上場取引所　東 名
コード番号　2207　URL　http://www.meito-sangyo.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 水谷　彰宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長　(氏名) 山崎　潔　TEL 052-521-7111

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,524	△11.4	△422	―	△166	―	△348	―
24年3月期第2四半期	9,626	△0.5	△22	―	259	△53.6	36	△86.7

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△1,024百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　△222百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△20.72	―
24年3月期第2四半期	2.19	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	41,112	29,846	72.1
24年3月期	43,627	31,172	71.1

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　29,651百万円　24年3月期　31,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	20.00	20.00
25年3月期	―	―			
25年3月期(予想)			―	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
24年3月期期末配当金の内訳　特別配当　2円00銭

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	1.1	250	98.0	500	△20.0	350	△7.3	20.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方法の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	21,265,000 株	24年3月期	21,265,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	4,454,956 株	24年3月期	4,454,689 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	16,810,208 株	24年3月期2Q	16,811,083 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
3. 四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 9
(5) セグメント情報等 …… 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初、震災からの復興需要などの内需に支えられ、さらに米国や中国を始めとする外需に牽引されて、持ち直しの動きが見られました。しかし、その後、長期化するデフレ経済や円高圧力に加え、欧州債務危機や中国など新興国の景気減速による世界的な需要の低迷により、日本経済を取り巻く環境は一段と厳しい状況となりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、食品の安全性に対する消費者意識が高まるなか、デフレ環境下で企業間の低価格競争がますます激化するなど、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上のため品質管理体制の拡充と生産体制の強化に引き続き注力するとともに、お客様の視点に立った高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、震災後に一時的な消費の高まりが生じた前年と比べて個人消費が低調に推移し、前年同期比11.4%減の8,524百万円となりました。営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減に努めましたが、売上高の減少ならびに平成22年に稼動しました３工場の減価償却費の負担などにより、422百万円の損失となりました。前年同期は22百万円の営業損失でありました。また、経常損益は166百万円の損失となりました。前年同期は259百万円の経常利益でありました。四半期純損益につきましては、特別利益に投資有価証券売却益20百万円、特別損失に投資有価証券評価損307百万円を計上しました結果、348百万円の損失となりました。前年同期は36百万円の四半期純利益でありました。

事業分野別の動向は、次のとおりであります。

食品事業

当第２四半期連結累計期間におきましては、主力の菓子部門は消費者の節約志向の高まりにより低価格競争が一段と加速して、減収となりました。チョコレート類は、残暑も厳しいなか主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ナッツチョコレートコレクション」などのファミリータイプの商品が苦戦を強いられ、減収となりました。キャンディ類は、特に受託商品の売上が減少しました。

粉末飲料部門は、分包タイプの「しょうが紅茶」は好調に推移しましたが、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などは個人消費が低迷するなか売上が落ち込み、減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、新商品を投入して販売促進活動を推進しましたが、減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカリーは、積極的な商品提案や営業施策を展開しましたが、主力のバウムクーヘン類やゼリー類の売上が伸びず減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ10.6%減の7,451百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の減少ならびに減価償却費の負担などにより、93百万円の損失となりました。前年同期は142百万円の営業利益でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、販路拡大に向けて激しい企業間競争が続くなか、円高や原子力発電所の事故に伴う海外での風評被害の影響を引き続き受けました。厳しさが増す環境下で、顧客獲得を目指し精力的な営業活動を推進しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに苦戦を強いられ減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、Ｘ線フィルムなどの原料の「デキストラン」の売上は増加しましたが、ＭＲＩ（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬「フェルカルボトラン」を始めとする「デキストランマグネタイト」は一部が下半期にずれ込んだことも影響し、減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ17.2%減の905百万円となり、営業損益につきましては、売上高の減少、円高の影響ならびに減価償却費の負担などにより、85百万円の損失となりました。前年同期は82百万円の営業利益でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、本年2月に倉庫の賃貸契約が終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ13.4%減の168百万円となり、営業利益は前年同期に比べ24.9%減の68百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べ746百万円減少し、8,806百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,134百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,768百万円減少し、32,305百万円となりました。これは、保有する株式の株価の下落などにより投資有価証券が1,360百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,514百万円減少し、41,112百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べ449百万円減少し、5,125百万円となりました。これは、その他に含まれる短期借入金が670百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ739百万円減少し、6,140百万円となりました。これは、繰延税金負債が235百万円減少したことや、長期借入金が457百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,189百万円減少し、11,265百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,325百万円減少し、29,846百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が676百万円減少したことや、利益剰余金が684百万円減少したことなどによります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ541百万円減少し、1,510百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ569百万円減少し、1,043百万円となりました。資金の主な増加要因は、売上債権の減少額1,134百万円および減価償却費726百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加額614百万円および税金等調整前四半期純損失453百万円であります。投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ209百万円減少し、97百万円となりました。資金の主な増加要因は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入378百万円であり、主な減少要因は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出400百万円であります。また、財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ105百万円増加し、1,488百万円となりました。資金の主な減少要因は、短期借入金の純減額670百万円、長期借入金の返済による支出457百万円および配当金の支払額334百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、食品事業の出荷が秋季から冬季に膨らむ傾向が強く、例年、上半期の業績は下半期に比べ相対的に低い水準となる傾向が強いこともあり、現時点では通期の連結業績予想につきまして、平成24年５月15日に公表いたしました数値を修正しておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,384	1,743
受取手形及び売掛金	4,591	3,456
有価証券	398	699
商品及び製品	885	1,219
仕掛品	297	346
原材料及び貯蔵品	747	979
その他	251	365
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	9,553	8,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,455	5,290
機械装置及び運搬具（純額）	4,324	4,209
その他（純額）	3,263	3,210
有形固定資産合計	13,044	12,709
無形固定資産	86	85
投資その他の資産		
投資有価証券	20,206	18,845
その他	804	733
貸倒引当金	△68	△68
投資その他の資産合計	20,942	19,510
固定資産合計	34,073	32,305
資産合計	43,627	41,112

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,026	2,264
1年内返済予定の長期借入金	870	914
未払法人税等	116	11
返品調整引当金	8	3
その他	2,553	1,931
流動負債合計	5,575	5,125
固定負債		
長期借入金	2,837	2,379
繰延税金負債	1,451	1,215
退職給付引当金	2,152	2,136
役員退職慰労引当金	17	15
その他	421	393
固定負債合計	6,879	6,140
負債合計	12,454	11,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	33,950	33,266
自己株式	△8,535	△8,536
株主資本合計	26,804	26,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,207	3,531
その他の包括利益累計額合計	4,207	3,531
新株予約権	160	195
純資産合計	31,172	29,846
負債純資産合計	43,627	41,112

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
売上高	9,626	8,524
売上原価	6,746	6,201
売上総利益	2,880	2,323
販売費及び一般管理費		
販売促進費	994	910
運送費及び保管費	522	504
広告宣伝費	34	33
給料手当及び賞与	777	753
退職給付費用	46	42
役員退職慰労引当金繰入額	3	3
貸倒引当金繰入額	－	0
減価償却費	51	37
その他	471	461
販売費及び一般管理費合計	2,902	2,745
営業損失（△）	△22	△422
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	254	250
持分法による投資利益	39	37
その他	45	26
営業外収益合計	350	327
営業外費用		
支払利息	24	20
固定資産除売却損	19	21
支払手数料	1	1
その他	22	27
営業外費用合計	68	70
経常利益又は経常損失（△）	259	△166
特別利益		
投資有価証券売却益	－	20
特別利益合計	－	20
特別損失		
投資有価証券評価損	161	307
特別損失合計	161	307
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	97	△453
法人税、住民税及び事業税	67	5
法人税等調整額	△6	△110
法人税等合計	60	△105
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	36	△348
四半期純利益又は四半期純損失（△）	36	△348

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	36	△348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△259	△676
その他の包括利益合計	△259	△676
四半期包括利益	△222	△1,024
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222	△1,024

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	97	△453
減価償却費	862	726
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△21	△18
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△2	△0
有価証券及び投資有価証券売却損益（△は益）	△12	△15
有価証券及び投資有価証券評価損益（△は益）	161	307
有形固定資産除売却損益（△は益）	18	16
受取利息及び受取配当金	△264	△262
支払利息	24	20
持分法による投資損益（△は益）	△39	△37
売上債権の増減額（△は増加）	1,168	1,134
たな卸資産の増減額（△は増加）	△811	△614
仕入債務の増減額（△は減少）	283	238
その他	22	△141
小計	1,486	899
利息及び配当金の受取額	264	263
利息の支払額	△24	△20
法人税等の支払額	△113	△98
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,613	1,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△301	△400
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	344	378
定期預金の預入による支出	△200	△200
定期預金の払戻による収入	－	300
有形固定資産の取得による支出	△164	△170
その他	14	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△306	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△610	△670
長期借入金の返済による支出	△413	△457
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△334	△334
その他	△24	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,382	△1,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△75	△541
現金及び現金同等物の期首残高	1,831	2,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,755	1,510

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,338	1,093	194	9,626	―	9,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	1	1	△1	―
計	8,338	1,093	195	9,627	△1	9,626
セグメント利益又は損失(△)	142	82	91	316	△339	△22

（注） １ セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,451	905	168	8,524	―	8,524
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―
計	7,451	905	168	8,524	―	8,524
セグメント利益又は損失(△)	△93	△85	68	△111	△311	△422

（注） １ セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２ セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（別紙）

名糖産業株式会社

平成25年3月期第2四半期決算参考資料

（金額単位：百万円、百万円未満切捨）

１．第2四半期連結累計期間(中間期)の実績推移

（連結）

	20/9月	21/9月	22/9月	23/9月	24/9月
売上高	10,489	9,858	9,670	9,626	8,524
営業利益	92	301	189	△ 22	△ 422
経常利益	544	576	558	259	△ 166
四半期純利益	381	460	276	36	△ 348

２．通期の実績推移と業績予想

（連結）

	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期予想
売上高	23,683	22,605	22,088	21,069	21,300
営業利益	705	1,294	564	126	250
経常利益	1,160	1,777	1,096	624	500
当期純利益	809	1,226	708	377	350

３．事業別売上高予想

（連結）

	25/3期予想	増減率	24/3期
食品	18,600	△0.2%	18,643
化成品	2,350	15.2%	2,040
不動産	350	△9.2%	385
合計	21,300	1.1%	21,069

４．営業外損益の内訳(実績)

（連結）

	第2四半期連結累計期間		通期
	24/9月	23/9月	24/3期
営業外収益	327	350	621
受取利息及び配当金	262	264	451
持分法による投資利益	37	39	49
その他の営業外収益	26	45	121
営業外費用	70	68	122
支払利息	20	24	46
その他の営業外費用	50	43	76